

## ベナン月報(2016年8月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 1日, コトヌ市において, 政府主催のベナン独立56周年記念式典が開催された。また, ベナン各地で同様の式典が開催された。
- 22日, 新たな指導監督評議会(COS/LEPI)メンバーが正式に着任。29日には委員長に政党PRDのアゲモン国民議会議員が選出された。
- 29日, 保健省は記者会見を開き, 今月に入りベナンでコレラが流行しており, 同日時点で129人が感染, 6人の死者が確認されているとした。

#### 【外政】

- 4日-5日, コトヌ市国際会議場で, IMF, 世銀及びベナン政府の共催による African Caucus 2016(アフリカ諸国の財務大臣, 中央銀行総裁及び国際金融機関が一堂に会する会議)が開催された。
- 27日-28日, ケニアのナイロビで TICADVI が開催され, ベナンからタロン大統領が出席, 安倍総理や北岡 JICA 理事長等と意見交換を行った。

#### 【経済】

- 22日, コトヌ市市場管理公社(SOGEMA)で, 昨年10月31日の火災で退去を余儀なくされていたダントツパ市場の利用者に対し, 新たに建設された店舗スペースを提供するための手続きが開始された。

※下記内容は, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および, Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ (7月28日), アボメイ・カラヴィ大学文学・芸術・人間学部(FLASH)は, 同学部の2015-2016年度を無効にすると発表した。これは, 学生ストライキなどにより授業が必要な時間行われなかったため, 論文のみを残す学生等は対象外。(4日, Le Matinal 紙)
- ・ 1日, コトヌ市において, 政府主催のベナン独立56周年記念式典が開催された。また, ベナン各地で同様の式典が開催された。(2日, La Nation 紙)
- ・ 5日, アボメイ・カラヴィ大学 FLASH が2016年度を無効とする決定をしたことを受け, ベナン学生連盟(FNEB), ベナン学生連合(UNEB)及びベナン学生・研究者連合(UNSEB)が無期限のストライキに突入することを発表した。(8日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 8日, ラフィア(M.Sacca LAFIA)内務大臣は, 軍のハイレベルなどで構成されるテロリズム・過激派対策局を新たに設置することを発表した。(9日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 10日, ベナン大統領府はコミュニケを発出し, ベナン大統領府の Flickr(米 Yahoo !が運営する写真の共有を目的としたコミュニティサイト)アカウントの創設を発表した。アドレスは以下の通り。<https://www.flickr.com/photos/presidencebenin/> (12日, Le Matin Libre 紙)

- ・ 16日、アラダ市で日本の支援による「アトランティック県アラダ病院建設・整備計画」の起工式が行われ、塚原大使、セイドゥ(M.Alasanne SEIDOU)保健大臣、ダシグリ(M.Barnabé DASSIGLI)地方分権・地方行政大臣等が出席した。(18日, La Nation 紙)
- ・ 16日、アボメイ・カラヴィ大学科学技術学部(FAST)での期末試験実施に際し、ベナン学生連盟(FNEB)、ベナン学生連合(UNEB)及びベナン学生・研究者連合(UNSEB)の学生が投石や汚物を教室にばらまく等、試験の実施を妨害した。治安部隊が出動し複数名が逮捕、軽傷を負った。(17日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 18日、2012-2013年度のベナン軍学校の入試において、23名が偽造の学位を提出していたことが発覚、除籍処分となった。(19日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日、新たな指導監督評議会(COS/LEPI)メンバーが正式に着任、当面の課題として恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の更新に尽力していくとした。(23日, La Nation 紙)
- ・ 国立大学病院センター(CNHU)のウエバン(M.Roméo HOUGBAN)医師によると、コトヌ市で生まれる新生児の100人に1人が何らかの奇形を持っており、毎年270,000人が先天性奇形が原因で、生後28日までに命を落としている。(25日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 24日、7月28日に死去したエミル・デルラン・ザンス(M.Emile Derlin ZINSOU)元ダオメイ共和国大統領の公式葬儀が行われ、タロン大統領などが出席した。(25日, La Nation 紙)
- ・ 24日、新たな機関として、大臣及び県知事発出する行政令の草案を精査する部署を大統領府に設置することが閣議決定された。(26日, L' Evénement Précis 紙)
- ・ 29日、COS/LEPIの委員長に政党PRDのアゲモン(M.Badirou AGUEMON)国民議会議員が選出された。副委員長は未決定。(30日, La Nation 紙)

#### 【治安】

- ・ (7月30日)、ボルグ県ベレレ市等で複数の幼児が嘔吐や下痢などを発症、3名の幼児が死亡、他9名の発症が確認されている。原因は農薬などの有機リン酸化合物が食品に混入していたためとみられている。(2日, La Nation 紙)
- ・ 4日、コトヌ港でコカイン約70kgが押収された。(5日, La Nation 紙)
- ・ 9日、米国からベナン警察への1億3700万 FCFA 相当に上る機材(ヘルメット、防弾チョッキ、暗視スコープ、麻薬検出装置等)の供与が行われた。(12日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 16日、コトヌ市カジェウン地区のスーパーマーケット Mont Sinaï に6人の武装強盗が押し入り、2名が重傷、店内の現金が強奪された。犯人グループは逃走中。(17日, Le Matinal 紙)
- ・ 22日未明、サケテ市でタイヤの輸入販売商の自宅に強盗が押し入り夫婦を殺害、バイクを盗んで逃走した。(23日, Le Matin Libre 紙)
- ・ 29日、保健省は記者会見を開き、今月に入りベナンでコレラが流行しており、同日時点で129人が感染、6名の死者が確認されているとした。(30日, La Nation 紙)

## 【外政】

- ・ 2日, タロン大統領がアブジャを訪問, ブハリ・ナイジェリア大統領と経済・エネルギー問題を中心とした二国間関係について協議した。(3日, La Nation 紙)
- ・ 4日ー5日, コトヌ市国際会議場で, IMF, 世銀及びベナン政府の共催による African Caucus 2016(アフリカ諸国の財務大臣, 中央銀行総裁及び国際金融機関が一堂に会する会議)が開催された。次回会議はボツワナで開催される。(9日, La Nation 紙)
- ・ 8日, ンジャメナでイトウノ(M.Idris Déby ITNO)チャド大統領の就任式が行われ, タロン大統領が出席した。その後, タロン大統領はコンゴ(共)を訪問, サスヌゲソ(M.Denis Sassou-Nguesso)コンゴ(共)大統領と会談した。(11日, La Nation 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 23日ー25日, 天野之弥 IAEA 事務局長がベナンを訪問, 25日の WHO 事務所における会見で, IAEA のベナンにおける保健分野での支援につき説明した。(26日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 24日, 国連人権委員会に立候補しているカポチチ(M.Ségnitondji Isidore Clément CAPO-CHICHI)国際刑事裁判所アフリカ地域コーディネーター及び障害者権利委員会に立候補しているバレ(M.Abdel Rahman Worou BARE)ベナン・ハンディスポーツ協会代表を支援していくことが閣議決定された。(25日, Le Matinal 紙)
- ・ 25日, ソグロ(M.Léhady SOGLO)コトヌ市長がカナダを訪問, モントリオール市長と会談し, コトヌ・モントリオール両都市間の協力関係について協議した。また, 2015年リビング・トゥゲザー・サミットの成果文書である「モントリオール宣言」への署名を行った。(29日, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 27日ー28日, ケニアのナイロビで TICADVI が開催され, ベナンからタロン大統領が出席, 安倍総理や北岡 JICA 理事長等と意見交換を行った。(9月1日, La Nation 紙)
- ・ 29日ー31日, タロン大統領はアベノンシ外務大臣と共にルワンダを国賓訪問し, カガメ大統領と会談, ルワンダとの間で複数の協力協定を締結した。(9月1日, La Nation 紙)

## 【経済】

- ・ (7月28日), 仏衛星放送 Canal+が, 銀行引き落としによる視聴料支払いの8月からの開始を発表した。(2日, La Nation 紙)
- ・ (7月30日)国際企業 TGI(Tropical General Investment)及び子会社の Fludor Bénin により, ソボドメ市カナ地区に建設された最新式のカシューナッツ加工工場の操業が開始された。同工場では年間15, 000トンの生産が見込まれている。(3日, Le Matinal 紙)
- ・ 11日, 石油製品価格調整委員会により石油製品の価格の調整が行われ, 閣議で承認された。価格はそれぞれ, ガソリン435FCFA/L, 灯油45FCFA/L, 軽油440FCFA/L, 混合燃料515FCFA/L, 家庭用ガス500FCFA/kg。(16日, La Nation 紙)
- ・ 18日, 国際 NGO マーシー・シッピングが運営し, 最貧国の人々に対し無償で医療を提供する

病院船マーシー・シップがベナンに着港した。この船では約40か国のボランティアが働いており、2017年5月まで滞在予定。(19日, La Nation 紙)

- ・ 19日, エオメイ(M.Hervé HEOMEY)インフラ・交通大臣がパラク市トゥル国際空港を視察した。この空港は3月にヤイ大統領によって完成式が行われたが、実際には国際空港としての基準を満たす滑走路等の整備が完了していない状態。エオメイ大臣は2017年3月までの完工を目指すとした。(22日, La Nation 紙)
- ・ 19日, ルワンダ航空がコトヌ市で営業を開始した。実際の就航は9月2日に予定されており、今後、コトヌからリーヴルヴィル, ドウアラ, キガリ, ナイロビなどへのアクセスが容易になる。(24日, Le Matin Libre 紙)
- ・ アタコラ県・ドンガ県のモロコシ栽培を中心とした農地で、毛虫の大量発生による被害が発生、約4000ヘクタールが被害を受けていると見積もられている。(23日, La Nation 紙)
- ・ 22日, コトヌ市市場管理公社(SOGEMA)で、昨年10月31日の火災で退去を余儀なくされていたダントツパ市場の利用者に対し、新たに建設された店舗スペースを提供するための手続きが開始された。(23日, La Nation 紙)